

浸水被害から住宅地を守る ～宮下排水樋管が完成しました～

肝付町宮下地先



肝属川の中流域にある宮下排水樋管(肝付町宮下地先:宮下橋より約200m上流)の改築工事が平成18年度に完成しました。今回の工事により、樋管内を通る水路断面を大きくしたため、洪水時の住宅側の浸水被害を軽減させる一助となりました。

また、以前の宮下排水樋管は、上屋(家のような構造物)がなかったため、大雨などが降った時に樋管の扉(門)を開け閉めし、作業をして頂きました。そのため、地元の操作人の方は、雨の中という過酷な条件の中で、操作作業を行いながら、地域の安全を守って頂いておりましたが、この樋管が完成したことで、操作人の方の負担が少しでも軽減できたのではないかと思います。